



東山代小学校便り

※学校ホームページ



2025. 9. 4

文責：中尾

※写真等パスワード
higashi07

◆「人にやさしく、まじめにがんばる子」

◆2学期がスタートしました

例年になく猛暑が続いた夏休みも終わりました。

始業式の朝、校門前に立ち、子どもたちとあいさつを交わしました。朝とはいえ、気温は高く、お互いに汗びっしょりになりながらも笑顔であいさつを交わすことができました。

その後、2学期の始業式を体育館で行いましたが、6年生が最初に無言で入場してきました。おかげで、ざわざわすることはなく、全校が静かに入場をしてきたことはとても嬉しいことでした。

長い夏休みの間に、身長も伸びたように見える子や頼もしくなったように感じる子など、子どもたちの成長に驚かされたところです。

始業式では、一年の中で一番長い2学期が始まりました。夏休みと同じように、何か一つでいいので、「自分の力で続けてがんばってほしい」と話しました。

◆不安や悩みがあれば・・・

始業式での教頭先生の話です。

「みなさんは、今日、学校に登校してくるときに、不安はありませんでしたか。昨日の夜、眠れなかった人はいませんか。不安や悩みがない人の方が少ないと思います。みなさんは、不安や悩みがあるときにどうしていますか。もし、不安や悩みがある人がいたら、一人で抱え込まずに周りの人に伝えてほしいと思います。悩みを打ち明けることは恥ずかしいことはありません。悩みを受けとめてくれる大人はたくさんいます。近くにいる信頼できる大人の人にぜひ相談してください。今日から、職員室の入り口に「イエローボックス」という箱を置きます。イエロー(黄色)は幸せを呼ぶ色と言われています。一人で抱えきれない悩みがあったときや、近くの大人に言いづらい悩みがあったときは、この箱を使ってください。この箱の中身を見ることができるのは、校長先生と教頭先生だけです。秘密は守ります。」

子どもたちは、いろいろな経験をしながら成長していきます。私たちもそうであったように、成長していく過程で、不安や悩みを一人で抱え込み、苦しい思いをするときもあります。その思いを自分の力で乗り越えていくことも大切なことですが、自分の力では乗り越えることができないこともあります。そんな時に、子どもたちが、自分が相談しやすいところに相談できれば、子どもたちを救ってあげることができると思いますし、成長を促すこともできると思います。

◆戦後 80 年（誰もが幸せであるために…）

今年、戦後 80 年ということで、テレビなどでも様々な報道や特集がありました。

私たちの年代は、祖父母はもとより父母も戦争を経験しています。ですから、戦中、戦後の生活の苦しさを経験した人から直接聞くことができました。生々しい話を聞くことで、「いのち」に対する思いや「平和」に対する思いを強くしたように思います。

しかし、戦争を経験した方々は高齢となり、経験したことを語ってくださる方も少なくなっています。同級生の父親は、90歳を超えても、戦争で亡くなった仲間の思いや自らの平和への思いを語らなければならないという一心で、学校で行われる平和集會に語り部として参加しておられました。しかし、健康上の理由で語るができなくなられました。

子どもたちが築いていく時代が「平和」であることを望まない人はいないと思います。

学校や家庭、地域で「平和」について考えていくことの大切さを強く感じた夏でした。

◆東山代小学校夏休み作品展

本校は、4月に、コミュニティセンターとの複合施設としてスタートしました。

本格的なスタートは、運動場を含む外構の完成後となりますが、今年からできることは進めていくことにしています。

このようなことから、9/1(月)から 9/5(金)まで1週間、コミュニティセンターの和室をお借りして「東山代小学校夏休み作品展」を開催したところです。子どもたちの力作を、町民の方々に見ていただくいい機会になったと思います。



◆ほほえましい子どもの姿④

毎朝、校門に立ち、子どもたちを迎えています。「校長先生、おはようございます！」と元気な声であいさつができる子、立ち止まって会釈をしてあいさつができる子、こちらがあいさつをしても黙って通り過ぎる子と様々です。ある日、低学年の子が、「あいさつはこがんとよ！」と友だちに教えていました。この子は、何気ない日常の中でもあいさつを大切にしているのだろうと思いました。